

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2015-3098(P2015-3098A)

【公開日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2014-182220(P2014-182220)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

表示結果が導出される前に、遊技用価値の付与を伴う小役入賞を含む入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

前記事前決定手段の決定結果および前記導出操作手段の操作に応じて、前記可変表示部に表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、

遊技者にとって有利な有利状態に制御する有利状態制御手段と、

遊技の進行における所定の契機で報知条件に関する制御をし、該報知条件にしたがって所定の情報を報知する報知期間に制御する報知期間制御手段と、

を備え、

前記報知期間制御手段による前記報知条件に関する制御の有利度が、前記有利状態に制御されている期間であるときと、前記有利状態とは異なる特定状態に制御されている期間であるときとで異なり得るように、前記報知期間制御手段は、前記報知条件に関する制御を行い、

前記小役入賞は、異なる複数種類の小役入賞を含み、

前記事前決定手段は、複数種類の小役入賞について発生を許容する旨を同時に決定する同時決定を行うことが可能であり、

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段により前記同時決定がなされた場合において、前記導出操作手段が第1の操作順で操作された場合には、前記導出操作手段が操作されたときに導出可能な表示結果のうち発生を許容する旨が決定された複数種類の小役入賞を対象として発生し得る小役入賞の数が多くなるように表示結果を導出する制御を行い、

前記事前決定手段により前記同時決定がなされた場合において、前記導出操作手段が前記第1の操作順とは異なる第2の操作順で操作された場合には、前記導出操作手段が操作

されたときに導出可能な表示結果のうち発生を許容する旨が決定された複数種類の小役入賞を対象として付与される遊技用価値が多くなり得るように表示結果を導出することにより、前記第1の操作順で操作された場合とは異なる表示結果を導出する制御を行う、スロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

このようなスロットマシンとしては、例えば、特許文献1があつた。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【特許文献1】特開2009-247461号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、特定の順番で停止操作するか、特定の順番以外で停止操作するかによって付与される価値を変化させることができるスロットマシンを提供することである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、本発明の請求項1に記載のスロットマシンは、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

表示結果が導出される前に、遊技用価値の付与を伴う小役入賞を含む入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、前記事前決定手段の決定結果および前記導出操作手段の操作に応じて、前記可変表示部に表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、

遊技者にとって有利な有利状態に制御する有利状態制御手段と、遊技の進行における所定の契機で報知条件に関する制御をし、該報知条件にしたがって所定の情報を報知する報知期間に制御する報知期間制御手段と、

を備え、

前記報知期間制御手段による前記報知条件に関する制御の有利度が、前記有利状態に制御されている期間であるときと、前記有利状態とは異なる特定状態に制御されている期間であるときとで異なり得るように、前記報知期間制御手段は、前記報知条件に関する制御を行い、

前記小役入賞は、異なる複数種類の小役入賞を含み、

前記事前決定手段は、複数種類の小役入賞について発生を許容する旨を同時に決定する同時決定を行うことが可能であり、

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段により前記同時決定がなされた場合において、前記導出操作手段が第1の操作順で操作された場合には、前記導出操作手段が操作されたときに導出可能な表示結果のうち発生を許容する旨が決定された複数種類の小役入賞を対象として発生し得る小役入賞の数が多くなるように表示結果を導出する制御を行い、

前記事前決定手段により前記同時決定がなされた場合において、前記導出操作手段が前記第1の操作順とは異なる第2の操作順で操作された場合には、前記導出操作手段が操作されたときに導出可能な表示結果のうち発生を許容する旨が決定された複数種類の小役入賞を対象として付与される遊技用価値が多くなり得るように表示結果を導出することにより、前記第1の操作順で操作された場合とは異なる表示結果を導出する制御を行うことを特徴としている。

本発明の手段1に記載のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

表示結果が導出される前に、入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

前記事前決定手段の決定結果および前記導出操作手段の操作に応じて、表示結果を導出する制御を行う手段であって、前記事前決定手段の決定結果が所定結果となった場合において、当該所定結果に応じて予め定められた有利手順で前記導出操作手段が操作されたときには、前記有利手順と異なる手順で前記導出操作手段が操作されたときに導出する表示結果の組合せよりも遊技者にとって有利な表示結果の組合せを導出可能な制御を行う導出制御手段と、

予め定められた複数種類の契機のうちいずれかが成立したことを条件として、遊技者にとって有利度合いが異なる報知条件を設定するための契機成立時処理を行う契機成立時設定手段と、

前記契機成立時設定手段により設定された報知条件に従って、前記事前決定手段の決定結果が前記所定結果となったときに当該所定結果に対応する有利手順を特定するための情報を報知する報知期間に制御する報知制御手段と、

を備え、

前記複数種類の契機は、前記入賞のうちの特定入賞の発生を許容する旨が決定される一方で当該決定とともに遊技者にとって有利な状態に移行する移行条件が成立しない第1契機と、前記特定入賞の発生を許容する旨が決定されるとともに前記移行条件が成立する第2契機とを含み、

前記契機成立時設定手段は、前記第1契機が成立することにより設定され得る報知条件のうち有利度合いが最大となる第1契機時最大報知条件の方が、前記第2契機が成立することにより設定され得る報知条件のうち有利度合いが最大となる第2契機時最大報知条件よりも、有利度合いが高くなるように前記契機成立時処理を行い、

前記スロットマシンは、

前記有利手順を特定するための情報を報知していないときにおいて、特定手順以外の手

順で操作されたときには、前記特定手順であったときに行われることのない遊技者にとって不利な不利制御を行うことが可能であることを特徴としている。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するために、本発明の手段2に記載のスロットマシンは、各々が識別可能な複数種類の図柄を変動表示可能な複数の可変表示領域（左、中、右リール）からなる可変表示装置を備え、

遊技用価値を用いて1ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、前記複数の可変表示領域（左、中、右リール）の全てに表示結果が導出されることにより1ゲームが終了し、前記複数の可変表示領域（左、中、右リール）を通る複数の入賞ライン（入賞ラインL1～L5）上に導出された図柄の組合せに応じて入賞が発生可能とされたスロットマシンであって、

前記複数の可変表示領域（左、中、右リール）に表示結果が導出される前に前記遊技用価値の付与を伴う小役入賞（小役）を含む複数種類の入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段（内部抽選）と、

前記複数の可変表示領域（左、中、右リール）それぞれに表示結果を導出させる際に操作される導出操作手段（ストップスイッチ8L、8C、8R）と、

前記導出操作手段が操作されたときに、該導出操作手段に対応する可変表示領域に、該導出操作手段が操作された時点で所定範囲（引込範囲）内に位置する表示結果から前記事前決定手段（内部抽選）の決定結果に応じていずれかの表示結果を導出させる制御を行う導出制御手段と、

前記特別入賞の発生を許容する旨が決定され、該特別入賞が発生しなかったときに、当該特別入賞の発生を許容する旨の決定を次ゲーム以降に持ち越す持越し手段（特別ワークに格納されるボーナスの当選フラグを次ゲーム以降に持ち越す）と、

を備え、

前記小役入賞のうち第1の小役入賞（ブドウ）は、前記複数の可変表示領域のうちの特定の可変表示領域（左リール）において前記第1の小役入賞を構成する第1の特定図柄（ブドウ）、他の可変表示領域（中、右リール）において前記第1の小役入賞を構成する第1の他図柄（中、右リールともにブドウ）がいずれかの入賞ライン（入賞ラインL1～L5）上に揃うことで発生する入賞であり、前記小役入賞のうち第2の小役入賞（1枚役）は、前記特定の可変表示領域（左リール）において前記第2の小役入賞を構成する第2の特定図柄（ブドウ）、他の可変表示領域（中、右リール）において前記第2の小役入賞を構成する第2の他図柄（中リールはプラム、スイカ、チェリー、ベルのいずれか、右リールはブドウ）がいずれかの入賞ライン（入賞ラインL1～L5）上に揃うことで発生する入賞であり、前記小役入賞のうち第3の小役入賞（2枚役）は、前記特定の可変表示領域（左リール）において前記第3の小役入賞を構成する図柄であり前記第2の特定図柄とは異なる第3の特定図柄（リプレイ）、他の可変表示領域において前記第3の小役入賞を構成する第3の他図柄（中リールはプラム、スイカ、チェリー、ベルのいずれか、右リールはリプレイ）がいずれかの入賞ライン（入賞ラインL1～L5）上に揃うことで発生する入賞であり、

前記導出制御手段は、前記事前決定手段（内部抽選）の決定結果が、前記第1～3の小役入賞の発生を許容し、かつ前記特別入賞の発生を許容しない特定の決定結果（特別役非持越し中の小役G R（1）～（5）当選）であり、前記導出操作手段が特定の順番で操作された場合に、前記第1の小役入賞（ブドウ）を構成する図柄の組合せをいずれかの入賞ラインに導出させる制御を行い、前記事前決定手段（内部抽選）の決定結果が前記特定の決

定結果（特別役非持越中の小役 G R (1) ~ (5) 当選）であり、前記導出操作手段が前記特定の順番以外の順番で操作された場合に、前記第 2 の小役入賞を構成する図柄（1 枚役）の組合せ及び前記第 3 の小役入賞（2 枚役）を構成する図柄の組合せの双方をそれぞれいずれかの入賞ラインに導出させる制御を行い、

前記スロットマシンは、

予め定められた複数種類の契機（A T 抽選条件）のうちいずれかが成立したことを条件として、遊技者にとって有利度合いが異なる報知条件（ナビストック）を設定するための契機成立時処理を行う契機成立時設定手段と、

前記契機成立時設定手段により設定された報知条件に従って、前記事前決定手段の決定結果が前記特定の決定結果となった場合に、当該特定の決定結果に対応して遊技者にとって有利となる前記導出操作手段の操作順を特定するための情報（ナビ演出）を報知する報知期間（A T）に制御する報知制御手段と、

を備え、

前記事前決定手段は、前記持越手段によって前記特別入賞の発生を許容する旨が持ち越されていないとき（内部中 R T でないとき）であって、前記特別入賞とは異なる特定入賞の発生を許容する旨を決定するときに、前記特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定し得ず、前記特別入賞の発生とは別に決定する別決定のみを行い（抽選対象役として、特定小役はボーナスと同時に読み出されない）、

前記複数種類の契機は、前記特定入賞の発生が許容されることを条件として成立する特定契機（最大許容 A T 抽選条件）を含み、

前記契機成立時設定手段は、前記特定契機が成立することにより設定され得る報知条件のうち有利度合いが最大となる特定時最大報知条件（最大ナビストック数である 14）の方が、前記特定契機以外の契機（最大不可 A T 抽選条件）が成立することにより設定され得る報知条件のうち有利度合いが最大となる報知条件（10）よりも、有利度合いが高くなるように前記契機成立時処理を行う

ことを特徴としている。

この特徴によれば、第 1 ~ 3 の小役入賞の発生が許容され、かつ特別入賞の発生が許容されていない場合には、特定の順番で導出操作手段が操作された場合と、特定の順番以外の順番で導出操作手段が操作された場合と、で小役入賞の組合せが揃う入賞ラインの数が異なるため、小役入賞が発生した際の可変表示領域の表示態様のバリエーションを増やすことができる。

また、報知期間においては、事前決定手段の決定結果が特定の決定結果となった場合に、当該特定の決定結果に対応して遊技者にとって有利となる導出操作手段の操作順を特定するための情報が報知される。このため、報知期間において事前決定手段の決定結果が特定の決定結果となった場合には、遊技者は意図的に有利な操作順で導出操作手段を操作して有利な表示態様を導出させることができる。

また、報知条件を設定させる契機が複数種類設けられているとともに、遊技者にとって有利度合いが異なる報知条件が設定され得るため、契機および報知条件の有利度合いのバリエーションを豊富にすることことができ、遊技の興奮を向上させることができる。

また、複数種類の契機のうち特定契機が成立したときには、特定契機以外の契機が成立することによって設定され得る有利度合いが最大となる報知条件よりも、有利度合いの高い特定時最大報知条件が設定され得る。このため、複数種類の契機のうち特定契機が成立することに対し遊技者に期待感を抱かせて注目させることができる。

さらに、特定時最大報知条件を設定させ得る特定契機は、特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定し得ない特定入賞の発生が許容されることを条件として成立する。このため、複数種類の入賞について発生を許容するか否かの 1 ゲームに対する決定において、特定契機を成立させるとともに、特別入賞の発生を許容させる旨が決定されることを防止することができる。その結果、特定時最大報知条件が設定されるとともに特別遊技状態に制御させてしまうことがなく、射幸性が高まりすぎてしまうといった不都合の発生を抑制することができる。また、特定契機が成立したときには、特別入賞の発生が許容されること

に対してではなく、特定時最大報知条件が設定されることにのみ遊技者を注目させることができる。

尚、前記契機成立時設定手段は、いずれかの契機が成立したことを条件として報知条件を設定し得るものであれば良く、いずれかの契機が成立したときであってもさらに所定条件が成立しなければ（A T 抽選で当選しなければ）報知条件を設定しない（ナビストック数：0）ものであっても良く、いずれかの契機が成立したときには必ず報知条件を設定する（ナビストック数：1以上）ものであっても良い。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の手段₃に記載のスロットマシンは、手段₂に記載のスロットマシンであって、各々が識別可能な複数種類の図柄を変動表示可能な複数の可変表示領域（左、中、右リール）からなる可変表示装置を備え、

遊技用価値を用いて1ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、前記複数の可変表示領域（左、中、右リール）の全てに表示結果が導出されることにより1ゲームが終了し、前記複数の可変表示領域（左、中、右リール）を通る複数の入賞ライン（入賞ラインL1～L5）上に導出された図柄の組合せに応じて入賞が発生可能とされたスロットマシンであって、

前記複数の可変表示領域（左、中、右リール）に表示結果が導出される前に前記遊技用価値の付与を伴う小役入賞（小役）を含む複数種類の入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段（内部抽選）と、

前記複数の可変表示領域（左、中、右リール）それぞれに表示結果を導出させる際に操作される導出操作手段（ストップスイッチ8L、8C、8R）と、

前記導出操作手段が操作されたときに、該導出操作手段に対応する可変表示領域に、該導出操作手段が操作された時点で所定範囲（引込範囲）内に位置する表示結果から前記事前決定手段（内部抽選）の決定結果に応じていずれかの表示結果を導出させる制御を行う導出制御手段と、

前記特別入賞の発生を許容する旨が決定され、該特別入賞が発生しなかったときに、当該特別入賞の発生を許容する旨の決定を次ゲーム以降に持ち越す持越手段（特別ワークに格納されるボーナスの当選フラグを次ゲーム以降に持ち越す）と、

を備え、

前記小役入賞のうち第1の小役入賞（ブドウ）は、前記複数の可変表示領域のうちの特定の可変表示領域（左リール）において前記第1の小役入賞を構成する第1の特定図柄（ブドウ）、他の可変表示領域（中、右リール）において前記第1の小役入賞を構成する第1の他図柄（中、右リールともにブドウ）がいずれかの入賞ライン（入賞ラインL1～L5）上に揃うことで発生する入賞であり、前記小役入賞のうち第2の小役入賞（1枚役）は、前記特定の可変表示領域（左リール）において前記第2の小役入賞を構成する第2の特定図柄（ブドウ）、他の可変表示領域（中、右リール）において前記第2の小役入賞を構成する第2の他図柄（中リールはプラム、スイカ、チェリー、ベルのいずれか、右リールはブドウ）がいずれかの入賞ライン（入賞ラインL1～L5）上に揃うことで発生する入賞であり、前記小役入賞のうち第3の小役入賞（2枚役）は、前記特定の可変表示領域（左リール）において前記第3の小役入賞を構成する図柄であり前記第2の特定図柄とは異なる第3の特定図柄（リブレイ）、他の可変表示領域において前記第3の小役入賞を構成する第3の他図柄（中リールはプラム、スイカ、チェリー、ベルのいずれか、右リールはリブレイ）がいずれかの入賞ライン（入賞ラインL1～L5）上に揃うことで発生する入賞であり、

前記導出制御手段は、前記事前決定手段（内部抽選）の決定結果が、前記第1～3の小

役入賞の発生を許容し、かつ前記特別入賞の発生を許容しない特定の決定結果（特別役非持越中の小役 G R (1) ~ (5) 当選）であり、前記導出操作手段が特定の順番で操作された場合に、前記第1の小役入賞（ブドウ）を構成する図柄の組合せをいずれかの入賞ラインに導出させる制御を行い、前記事前決定手段（内部抽選）の決定結果が前記特定の決定結果（特別役非持越中の小役 G R (1) ~ (5) 当選）であり、前記導出操作手段が前記特定の順番以外の順番で操作された場合に、前記第2の小役入賞を構成する図柄（1枚役）の組合せ及び前記第3の小役入賞（2枚役）を構成する図柄の組合せの双方をそれぞれいずれかの入賞ラインに導出させる制御を行い、

前記スロットマシンは、

予め定められた複数種類の契機（A T 抽選条件）のうちいずれかが成立したことを条件として、遊技者にとって有利度合いが異なる報知条件（ナビストック）を設定するための契機成立時処理を行う契機成立時設定手段と、

前記契機成立時設定手段により設定された報知条件に従って、前記事前決定手段の決定結果が前記特定の決定結果となった場合に、当該特定の決定結果に対応して遊技者にとって有利となる前記導出操作手段の操作順を特定するための情報（ナビ演出）を報知する報知期間（A T）に制御する報知制御手段と、

を備え、

前記事前決定手段は、前記持越手段によって前記特別入賞の発生を許容する旨が持ち越されていないとき（内部中R Tでないとき）であって、前記特定入賞の発生を許容する旨を決定するときに、前記特別入賞の発生を許容する旨と同時に決定する同時決定（B B 1 + 特定小役）と、前記特別入賞の発生とは別に決定する単独決定（特定小役）と、を行い、

前記複数種類の契機は、前記単独決定により前記特定入賞の発生が許容されることを条件として成立する特定契機（最大許容A T 抽選条件）を含み、

前記契機成立時設定手段は、前記特定契機が成立することにより設定され得る報知条件のうち有利度合いが最大となる特定時最大報知条件（最大ナビストック数である14）の方が、前記特定契機以外の契機が成立することにより設定され得る報知条件のうち有利度合いが最大となる報知条件（10）よりも、有利度合いが高くなるように前記契機成立時処理を行う

ことを特徴としている。

この特徴によれば、第1~3の小役入賞の発生が許容され、かつ特別入賞の発生が許容されていない場合には、特定の順番で導出操作手段が操作された場合と、特定の順番以外の順番で導出操作手段が操作された場合と、で小役入賞の組合せが揃う入賞ラインの数が異なるため、小役入賞が発生した際の可変表示領域の表示態様のバリエーションを増やすことができる。

また、報知期間においては、事前決定手段の決定結果が特定の決定結果となった場合に、当該特定の決定結果に対応して遊技者にとって有利となる導出操作手段の操作順を特定するための情報が報知される。このため、報知期間において事前決定手段の決定結果が特定の決定結果となった場合には、遊技者は意図的に有利な操作順で導出操作手段を操作して有利な表示態様を導出させることができる。

また、報知条件を設定させる契機が複数種類設けられているとともに、遊技者にとって有利度合いが異なる報知条件が設定され得るため、契機および報知条件の有利度合いのバリエーションを豊富にすることことができ、遊技の興奮を向上させることができる。

また、複数種類の契機のうち特定契機が成立したときには、特定契機以外の契機が成立することによって設定され得る有利度合いが最大となる報知条件よりも、有利度合いの高い特定時最大報知条件が設定され得る。このため、複数種類の契機のうち特定契機が成立することに対し遊技者に期待感を抱かせて注目させることができ。

さらに、特定時最大報知条件を設定され得る特定契機は、特定入賞の発生が特別入賞の発生とは別に決定されることを条件として成立し、たとえ特定入賞の発生が許容されたときであっても特別入賞の発生を許容する旨が同時に決定されたときには成立しない。この

ため、複数種類の入賞について発生を許容するか否かの 1 ゲームに対する決定において、特定契機を成立させるとともに、特別入賞の発生を許容させる旨が決定されることを防止することができる。その結果、特定時最大報知条件が設定されるとともに特別遊技状態に制御させてしまうことがなく、射幸性が高まりすぎてしまうといった不都合の発生を抑制することができる。また、特定契機が成立したときには、特定時最大報知条件が設定されることのみならず、特別入賞の発生が許容されることに対しても、遊技者に期待感を抱かせることができる。

尚、前記契機成立時設定手段は、いずれかの契機が成立したことを条件として報知条件を設定し得るものであれば良く、いずれかの契機が成立したときであってもさらに所定条件が成立しなければ（ A T 抽選で当選しなければ）報知条件を設定しない（ナビストック数： 0 ）ものであっても良く、いずれかの契機が成立したときには必ず報知条件を設定する（ナビストック数： 1 以上）ものであっても良い。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

手段2、手段3において前記第 2 の小役入賞を構成する第 2 の特定図柄、前記第 3 の小役入賞を構成する第 3 の特定図柄が異なる構成であれば、第 1 の小役入賞を構成する第 1 の特定図柄と第 2 の特定図柄、または第 1 の特定図柄と第 3 の特定図柄が同じ図柄であっても良いし、異なる図柄であっても良い。また、前記第 1 の小役入賞を構成する第 1 の他図柄、前記第 2 の小役入賞を構成する第 2 の他図柄、前記第 3 の小役入賞を構成する第 3 の他図柄は、同じ図柄であっても良いし、異なる図柄であっても良い。

また、手段2、手段3において前記第 1 の小役入賞を構成する第 1 の特定図柄と前記第 1 の他図柄とは同じ図柄であっても良いし、異なる図柄であっても良い。同様に前記第 2 の小役入賞を構成する第 2 の特定図柄と前記第 2 の他図柄とは同じ図柄であっても良いし、異なる図柄であっても良く、前記第 3 の小役入賞を構成する第 3 の特定図柄と前記第 3 の他図柄とは同じ図柄であっても良いし、異なる図柄であっても良い。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明の手段4に記載のスロットマシンは、手段2または3に記載のスロットマシンであって、

前記契機成立時設定手段は、前記特定入賞の発生が許容されたときであっても、前記持越手段によって前記特別入賞の発生を許容する旨が持ち越されているときには、前記特定時最大報知条件を設定しないように前記契機成立時処理を行う（内部中 R T において特定小役が当選しても A T 抽選条件を成立させない）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特別入賞の発生が許容されており特別遊技状態に制御されることが確定しているときには、特定入賞の発生が許容されたときであっても特定時最大報知条件が設定されないため、射幸性が高まりすぎてしまうといった不都合の発生を抑制することができる。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0013】**

本発明の手段5に記載のスロットマシンは、手段2～4のいずれかに記載のスロットマシンであって、

前記事前決定手段は、前記特別遊技状態では前記特定入賞の発生を許容する旨を決定し得ず、前記特別遊技状態でないことを条件として前記特定入賞の発生を許容する旨の決定を行う（RB1およびRB2のいずれにおいても特定小役が当選せず入賞しない）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特別遊技状態においては特定入賞の発生が許容されず、特定時最大報知条件が設定されないため、射幸性が高まりすぎてしまうといった不都合の発生を抑制することができる。また、特別遊技状態において特定入賞を発生させてしまうことにより遊技者の混乱を招くといった不都合の発生を防止することができる。

【手続補正12】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0014****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0014】**

本発明の手段6に記載のスロットマシンは、手段2～5のいずれかに記載のスロットマシンであって、

前記複数種類の契機は、前記特定入賞とは異なる特殊入賞（チェリー1、チェリー2）の発生が許容されることを条件として成立する特殊契機を含み、

前記事前決定手段は、前記特定入賞の発生を許容する旨を、前記特殊入賞の発生を許容する旨を決定する割合よりも低い割合に従って決定する

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定契機の成立する割合は、特殊契機が成立する割合よりも低い。このため、特定契機が成立して特定時最大報知条件が設定されることに対する価値を高め、プレミア感を遊技者に抱かせることができる。

【手続補正13】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0015****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0015】**

本発明の手段7に記載のスロットマシンは、手段2～6のいずれかに記載のスロットマシンであって、

前記導出制御手段は、前記特定入賞の発生を許容する旨が決定されているときには、前記導出操作手段が操作された順番に関わらず、前記特定入賞を発生させる図柄の組合せ（「ブドウ・リプレイ・スイカ」）を前記入賞ライン上に導出させる制御を行う

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定入賞の発生が許容されたときには特定入賞を発生させる図柄の組合せが入賞ラインに導出されることにより、特定契機が成立して特定時最大報知条件が設定されたかもしれないことに対する期待感を確実に遊技者に抱かせることができる。

【手続補正14】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0016****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0016】**

本発明の手段8に記載のスロットマシンは、手段2～7のいずれかに記載のスロットマ

シンであって、

前記報知制御手段は、

前記報知条件が設定されたことに基づいて制御される状態であって、当該報知条件に対応する報知終了条件（A Tから非A Tに制御するときのA Tフラグがナビストック数0であるとき）が成立して前記報知条件が設定されていない通常状態（A TフラグからA Tでない旨が特定される状態）となるまで、前記報知期間となる割合が前記通常状態であるときよりも高い有利状態（A Tである旨を示すA Tフラグがセットされている状態）に制御する有利状態制御手段と、

前記有利状態において報知期間が終了した後に再び報知期間となり得るまでの非報知期間（潜伏期間）を決定する非報知期間決定手段と、

を含み、

前記非報知期間決定手段は、前記特定時最大報知条件が設定されることにより制御される有利状態の方（最大決定時カウンタの値が1以上であるとき）が前記特定時最大報知条件以外の報知条件が設定されることにより制御される有利状態よりも、非報知期間の期待値が大きくなる（平均化される潜伏期間の長さが長くなる）ように非報知期間を決定することを特徴としている。

この特徴によれば、遊技者にとって有利となる報知期間には、通常状態であるときよりも有利状態であるときの方が高い割合で移行される。その結果、有利状態に制御されて報知期間に移行されることに対する期待感を遊技者に抱かせることができる。

有利状態に制御された場合であっても、非報知期間に移行される長さによって、次の報知期間に移行されるまでに設定する賭数が多くなり遊技者の利益が左右される。このため、非報知期間の長さに遊技者を注目させることができ。このような非報知期間は、特定時最大報知条件が設定されることにより制御された有利状態における非報知期間であるか否かを考慮して決定される。具体的に、特定時最大報知条件が設定されることにより制御された有利状態の方が、特定時最大報知条件以外の報知条件が設定されることにより制御される有利状態に比べて、一の報知期間終了後の非報知期間の期待値が大きくなるよう決定される。このため、有利状態において報知期間が終了した後に移行される非報知期間が単調になってしまふことを防止でき、有利状態における遊技の興趣が低下する不都合の発生を防止することができる。さらに、特定時最大報知条件が設定されることにより制御された有利状態における非報知期間が、短い期間ばかりとなり、一連の有利状態における射幸性が高まりすぎてしまうといった不都合の発生を抑制することができる。

尚、非報知期間決定手段により非報知期間を決定するタイミングは、前記報知条件が設定された後であって、該報知条件に基づき制御される有利状態において当該非報知期間に移行するまでであれば良い。また、非報知期間決定手段の決定対象は、前記有利状態において制御される非報知期間毎であっても良く、また、前記有利状態に制御するまでに当該有利状態において制御されるすべての非報知期間であっても良い。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明の手段9に記載のスロットマシンは、手段2～8のいずれかに記載のスロットマシンであって、

前記報知制御手段は、前記報知条件が設定されたことに基づいて制御される状態であって、当該報知条件に対応する報知終了条件が成立（A Tから非A Tに制御するときのA Tフラグがナビストック数0であるとき）して前記報知条件が設定されていない通常状態（A TフラグからA Tでない旨が特定される状態）となるまで、前記報知期間となる割合が前記通常状態であるときよりも高い有利状態（A Tである旨を示すA Tフラグがセットされている状態）に制御する有利状態制御手段を含み、

前記有利状態制御手段は、前記特定時最大報知条件が設定されることにより制御される有利状態の方が、前記特定契機と異なる契機の成立により前記特定時最大報知条件と同じ有利度合いの報知条件が設定されることにより制御される有利状態よりも、当該一の有利状態に制御されることに起因して付与されることが期待される遊技用価値の総数と賭数の設定に用いられる遊技用価値の総数との差である獲得期待数（増減枚数、メダルの純増枚数）が少なくなるように前記有利状態を制御するための特定制御を行う（例えば、潜伏期間として長い期間を高い割合で選択する）ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技者にとって有利となる報知期間には、通常状態であるときよりも有利状態であるときの方が高い割合で移行される。その結果、有利状態に制御されて報知期間に移行されることに対する期待感を遊技者に抱かせることができる。

また、有利状態に制御された場合であっても、報知期間や非報知期間に移行される長さによって、遊技者の利益が左右される。さらに、特定時最大報知条件が設定されることにより制御される有利状態の方が、特定契機と異なる契機の成立により特定時最大報知条件と同じ有利度合いの報知条件が設定されることにより制御される有利状態よりも、獲得期待数が少なくなるように有利状態を制御するための特定制御が行われる。これにより、特定時最大報知条件と同じ有利度合いの報知条件に従って同じ期間に亘り報知期間に移行させ得る有利状態に制御されたときであっても、特定契機が成立して特定時最大報知条件が設定されたときの方が、それ以外であるときよりも遊技者の利益が少なくなる。その結果、特定時最大報知条件と同じ有利度合いの報知条件を設定することとなった契機、すなわち有利状態への制御契機にも注目させることができ、遊技の興奮を向上させることができる。

また、特定時最大報知条件と同じ有利度合いの報知条件を設定することとなった契機の成立回数が多いときには、少ないときと比較して、特定時最大報知条件と同じ有利度合いの報知条件が設定されるまでに、高い割合で多くの賭数を要する。一方、特定時最大報知条件と同じ有利度合いの報知条件を設定することとなった契機の成立回数が少ないときには、多いときと比較して、遊技者の利益が少なくなる。これにより、契機の成立回数が多いときと少ないときとの利益均衡を図り、例えば契機の成立回数が少ないときにも多いときと同じ利益を付与する場合と比較して、契機の成立回数が少ないときの射幸性が高まりすぎてしまうといった不都合の発生を極力抑制することができる。

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明の手段10に記載のスロットマシンは、手段2～9のいずれかに記載のスロットマシンであって、

前記導出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果（内部抽選）が、前記第1～3の小役入賞の発生を許容し、かつ遊技者にとって有利な特別遊技状態（B B）への移行を伴う特別入賞（特別役）の発生も許容する特別の決定結果（特別役持越中の小役 G R（1）～（5）当選）である場合に、前記導出操作手段が操作された順番に関わらず、前記第1の小役入賞（ブドウ）を構成する図柄の組合せをいずれかの入賞ラインに導出させる制御を行うとともに、前記第1の小役入賞（ブドウ）と前記特別入賞（特別役）の双方が発生可能となる表示結果を前記第2の小役入賞（1枚役）と前記第3の小役入賞（2枚役）の双方が発生可能となる表示結果よりも優先して導出させる制御を行い、

前記特定の可変表示領域（左リール）に配列された図柄は、所定のタイミング（特別役の引込範囲）にて前記導出操作手段（ストップスイッチ 8 L）が操作された場合に、前記第1の図柄（ブドウ）及び前記特別入賞を構成する図柄（黒7）の双方を前記入賞ラインに導出させることは可能であるが、前記第2の図柄（ブドウ）、前記第3の図柄（リプレ

イ) 及び前記特別入賞を構成する図柄(黒7)からなる3つの図柄全てを前記入賞ラインに導出させることができない順番にて配置されている

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定の可変表示領域では、所定のタイミングにて導出操作手段が操作された場合に、第1の図柄及び特別入賞を構成する図柄の双方を前記入賞ラインに導出させることは可能であるが、第2の図柄、第3の図柄及び特別入賞を構成する図柄からなる3つの図柄全てを入賞ラインに導出させることができない順番にて図柄が配列されており、第1～3の小役入賞の発生が許容され、かつ特別入賞の発生が許容されている場合には、第1の小役入賞と特別入賞の双方が発生可能となる表示結果を第2の小役入賞と第3の小役入賞の双方が発生可能となる表示結果よりも優先して導出させる制御を行なっている。このため、特別入賞と複数の小役入賞が同時に許容された場合に、特別入賞の構成図柄と小役入賞の構成図柄の双方を入賞ラインに停止させる構成にしても、特定の可変表示領域において特別入賞を構成する図柄と第1の図柄とが同時に入賞ラインに停止する図柄配置、すなわち2種類の図柄が入賞ラインに停止する図柄配置とすることで、第2の小役入賞の構成図柄、第3の小役入賞の構成図柄及び特別入賞の構成図柄からなる3つの図柄が全て同時に入賞ラインに停止する図柄配置、すなわち3種類の図柄が入賞ラインに停止する図柄配置に比較して図柄配列の制限が少なくて済む。

また、第1～3の小役入賞の発生が許容され、かつ特別入賞の発生が許容されている場合には、導出操作手段が操作された順番に関わらず、第1の小役入賞を構成する図柄の組合せをいずれかの入賞ラインに導出させる制御を行うようになっており、第1の小役入賞が単独で揃うことで特別入賞が許容されていることに対する期待感を高めることができる。

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明の手段1_1に記載のスロットマシンは、手段2～10のいずれかに記載のスロットマシンであって、

前記第1の小役入賞(ブドウ)が発生した場合と、前記第2の小役入賞(1枚役)及び前記第3の小役入賞(2枚役)の双方が発生した場合と、で付与される遊技用価値の数が異なる

ことを特徴としている。

この特徴によれば、事前決定手段の決定結果が同じ特定の決定結果であっても、導出操作手段を操作した順番によって付与される遊技用価値の数を変化させることができる。

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0473

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0473】

また、潜伏期間による抑制は、最大決定されたか否か及び最大許容AT抽選条件が成立したか否かに限らず、例えば、所定数以上(例えば8以上)のナビストック数を、1回のAT抽選で獲得したときの方が複数回のAT抽選で獲得したときよりも高い割合で、同じナビストック数を消費する間におけるメダルの純増枚数が小さくなるようにするための特定制御を行って、射幸性を抑制するようにしても良い。具体的には、1回のAT抽選で8以上のナビストック数に決定されたとき(以下、多数決定という)に、最大決定時カウンタに替えて多数決定時カウンタの値に7を設定し、図16のSA01において多数決定時カウンタの値が0であるか否かを判定し、SA01において0でないと判定されたときに

S A 0 5において多数決定時カウンタの値を1減算して、S A 0 6以降の処理を行うことにより、比較的長い潜伏期間が高い割合で決定されるようにしても良い。

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 5 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 5 0 1】

前述した実施例における準備モードでは、昇格リプレイや転落リプレイを含むリップG R 1～リップG R 4が抽選対象役として読み出されず当選しない例について説明したが、これに限らず、昇格リプレイや転落リプレイを含むリップG R 1～リップG R 4が抽選対象役として読み出されて、所定確率で当選し、入賞し得るように構成しても良い。このように構成した場合、例えば、準備モードにおいて、昇格リプレイに入賞したときには有利R Tに制御するようにしても良く、転落リプレイに入賞したときには通常遊技状態に制御するようにしても良い。この場合において、準備モードにおいて、共通の操作様式以外で操作されたときには、図21のS 5 3～S 5 6と同様の処理を行い、ペナルティが課されるようにしても良い。